

明治六年創立。地域の絆が生まれる場所

赤岡小学校創立一五〇周年



明治維新真つ口中に設立された赤岡小学校。何世代もの子どもたちが学び、巣立った歴史の中には地域とともにある学校の姿。町のおんちゃん、おばちゃんも学校に行き、先生や保護者とともに子どもたちを応援しています。
(編集委員：田中たい子)

初代の赤岡小学校校舎

魅力ある学校にしよう 「黒潮の子ども応援隊」

赤岡小学校は、平成24年度より「学校支援地域本部事業」の指定を受け、地域とともにある学校づくりに取り組んできました。その活動母体として組織されたのが「黒潮の子ども応援隊」です。環境整備、学習支援、安全活動などのボランティアにより構成されています。その活動回数は、年間300回を超え、関わった人数はなんと、80人以上。小さな地域の小さな小学校でのこの数字、赤岡小学校がどれだけ地域の中で愛される存在なのか、わかります。

「小学校に、地域の人に来ていない日がなかった」と話すのは赤岡町で木材業を営まれる西内正澄さん。自分の息子もお世話になったからと、長年応援隊の中心となり小学校を支えてくれています。

「保護者や地域の方が学校に足を運べる環境になるには、魅力ある学校を作らねばいけません。応援隊の活動は、子どものやる気につながる手助け。1人ではできません。家庭、学校、地域のみんなが支えることで子どもの学力・体力向上・社会性など『生きる力』を身に付けてほしいと思う。『やればできる』ことを感じてほしいですね」と、思いを語ってくれました。



▲地域学校協働本部事業運営委員会

平成30年からはコミュニティ・スクールを導入して「学校運営協議会」を設置し、「黒潮の子ども応援隊」は学校・家庭・地域との絆をさらに強くしてきました。



算数丸つけ



中学生の読み聞かせ



お芋植え

赤岡みんなで笑顔を咲かそう

「赤岡の子どもたちは、本当に地域の人に愛されているなあ」と、つくづく感じますね。いろんな人に支えてもらっている」と優しい笑顔を浮かべるのは、赤岡小学校の陰山陽一校長。昨年、赤岡中学校から小学校に赴任されました。

今年も赤岡小学校創立150年の節目の年で、2月10日には「創立一五〇周年記念事業」が行われました。実行委員会を立ち上げ、「赤岡みんなで笑顔を咲かそう」をテーマに学校と保護者や地域の人が準備をして行われた記念セレモニー。

地域の人たちも大勢参加し、まさにみんなが笑顔になれた一日でした。

事務局の竹田和子教頭から「内容は子どもたちと考えました。風船飛ばしも学習発表会もみんなのアイデアが活かされているんです」とのこと。それぞれの学年で工夫を凝らした学習発表会。大きな声で発表する子どもの姿に拍手や笑い声。会場が温かい雰囲気であふれました。また「風船とはし」は大変好評。子どもたちのメッセージをつけた色とりどりの風船が校庭から青空に向けて小さくなる様子を参加者みんなで歓声をあげながら見送りました。

「ごらー」と叱ってくれる 近所のおんちゃん、おばちゃん

赤岡小学校の元校長の岡西博文先生。新採の時赤岡に赴任し、一度野根小学校に移り、校長として赤岡小学校に再び赴任。約20年間、赤岡小学校に携わった岡西先生は、現在は野市町にある森田村塾の塾長。黒潮の子ども応援隊をスタートさせました。「学校に地域の人に来てくれたら活気が出る。まずは顔と顔を突き合わせて挨拶したり、いかにことは『ごらー』と叱ってもらえる関係づくりが必要でした」と、当時を振り返る岡西先生。

地域の中で、まず最初に声をかけたのは新採当時の保護者さん。今まさに「応援隊」の中心となってボランティア活動をされている中川弘枝さんと竹村正江さんです。彼女たちの誘いで、1人2人と関わる人が増え、地域と学校は強くなってきました。

校長や先生方が異動しても、この事業はしっかりと引き継がれています。子どもたちは近所のおんちゃん、おばちゃんと気軽に会話し、時には叱ってもらって成長しています。

子どもたちと一緒に作って食べる もりもりモーニング

「朝ごはん、一緒に作って食べよう」と、岡西先生が個人的に始めたことがきっかけでした。「朝ごはん」の大切さを伝えるため、応援隊の食育健康班の協力で、平成29年から続けているのが「もりもりモーニング」です。だいたい月1回の取り組みでしたが、コロナ感染症の影響で中断していたのが今年から復活。前の日に子どもたちが地域の人と一緒に準備をし、当日朝6時すぎからボランティアアさんが用意してくれ、希望する子どもたちは早起きして学校に集まり、みんなで朝ごはんを食べます。

朝早くから準備する皆さんは、子どもたちと関わることが本

本当に楽しそうです。料理をしている間も、できた食事を子どもたちに渡す時も、笑顔で「はい、どうぞ」の優しい一言、野菜などの食材も寄付してくれています。

筆者も今回お手伝いに行かせていただきましたが、ボランティアアさんや子どもたちに元気をもらってうれしくなる自分がいるのです。

食育健康班

防災学習班

消防団の皆さんの指導で子ども防災クラブが活躍



12月に行う夜回り工夫をこらした掛け声で楽しませてくれる

広報活動



▲活動を紹介する冊子「黒潮」「あかっぴー」という通信も発行しています



トトロの木 あかっぴー

みんなと飾った雛壇の前で



みんなと飾った雛壇の前で



朝食作り



運動会



鯉のぼり立て



お祭り参加